



生活情報、行政情報、安全・安心情報等の発信に貢献



(株) ケーブルテレビ可児

住民にも着実に浸透中 コミチャンの接触率が向上



山下伸一郎氏 (株) ケーブルテレビ可児 取締役 統括部長 (写真右)
尾石美智代氏 制作部 制作課 課長 (中央)
山口篤志氏 制作部 制作課 (写真左)

岐阜県・可児市、および御嵩町(一部地域を除く)をエリアに事業を展開する(株)ケーブルテレビ可児(岐阜・可児市、加藤芳樹社長)。徐々に通信系サービスがエリア内で広まりつつある中、同社では早期のデジタル化、さまざまな方法でのコミチャンの強化を実施したという。

バラ)です。特にカニバラは地域のさまざまなお得情報やイベント紹介、さらに話題の人のインタビューなどを放送し、好評を得ています。局やサービスの紹介ではなく、番組「カニバラ」の広告やポスターを作成するなど、PRにも努めています。

さらに文字放送で地域の情報を伝える番組「市民掲示板」を毎日7時00分他に放送しているのですが、今回コミチャン強化の一環として文字放送システムに「Channel-i」を導入し、地域住民により密着した情報を発信できる文字放送を目指すことにしました。

使いやすいUIが魅力 価格やカスタマイズ性も評価

山口氏:これまで使用していた文字放送システムは全面放送のみ行えるもので、L字にして本線の映像を出すことはできませんでした。そこで、システムの更新時期に来ていたこともあり、各社のシステムを比較検討し、「Channel-i」の導入を決定しました。

「Channel-i」導入に至った理由は、まず文字情報更新作業のユーザーインターフェイスが直感的で使いやすいことです。

今回文字放送を強化するにあたり、自治体や各種団体など、社外の人々から直接情報を入力・更新してもらえシステムとすることを目指しました。そのためには外部更新が可能なシステムであることはもちろんですが、社外の多くの人に使い方をすぐわかってもらえるものである必要があります。その点「Channel-i」の入力・更新インターフェイスは非常にわかりやすく、数時間ほどの講習で協力いただける方々にも操作方法

を理解してもらえました。その他、価格がリーズナブルである点やカスタマイズ性が高い点、さらに弊社はCNCIのデータ放送システムを利用しているのですが、そちらとの連携にも対応できた点などを評価しました。

地域住民の情報発信も可能 緊急情報の提供も目指す

山口氏:「Channel-i」導入後、可児市役所やNPOセンター、消防署、社会福祉協議会、花フェスタ記念公園等から直接文字情報を入力・更新いただいています。また地域住民の方からの情報は直接弊社で受け付け発信しています。

尾石氏:文字情報は着実に地域住民の生活に浸透しているようです。実は反響として「迷子になった犬や猫が見つかった」とよく聞きます。住民が持ち込んだ迷子ペット情報を文字情報で放送すると、高い確率でペットが見つかるらしいんですよ。文字情報を見た住民が「〇〇で迷子のペットを見かけた」と、情報を寄せてくれるようです。それだけ日常的に文字情報を見ていただいているということでしょう。マイナーなクラブの募集などで効果を発揮しているようです。

山下氏:今後の展開としては、災害発生時に第一報を文字情報に上げてもらえるよう、可児市役所と交渉をしています。こちらは6月中には形にしたいと考えています。住民のコミチャン接触率を高めると共に、生活や緊急時に欠かせない情報を放送し、コミチャンを「あれば便利」から「必需品」というステージに引き上げたいですね。とにかく、住民に「何かあったら、まずコミチャンを見る」という生活スタイルを持ってもらえるよう、努力していく所存です。

コミチャン強化の一環で 「Channel-i」を導入

山下氏:弊社では2003年12月より地上デジタル放送を含むデジタル放送サービスを開始し、今年の3月末でアナログ多チャンネルサービスを終了しました。ダイレクトメール(DM)等でアナログ多チャンネルサービス終了の周知を徹底して行い、最後の頃は1回1回DMを送付していましたね。その結果アナログ多チャンネルサービス終了時もクレームはほとんどなく、問い合わせが3件あった程度です。

ただし、コミュニティチャンネル(以下コミチャン)は、OFDMのデジタルとともに、アナログも来年7月24日まで継続していきます。やはりコミチャンはケーブル局の大きな武器ですからね。

現在、可児でも通信事業者系の光サービスが進出してきています。そちらもトリプルプレイを備えつつあり、完全に我々のコンペティターです。通信系サービスに対抗するためには、コミチャンの視聴率を上げ、差別化する必要があります。ですからコミチャンの強化は急務と言えます。

尾石氏:コミチャンは徹底して地域密着をテーマに番組制作をしています。

自社制作の主な番組は、平日19時30分他に放送している、エリア内のニュースを伝える番組「CTKフラッシュニュース」と、毎週土曜日6時00分他に放送している「情報バラエティ番組 カニ